

＜新庁舎整備基本構想（案）地区別説明会＞

◇意見・要望（質疑応答含む）◇

西 大 芦

◇【H26年6月26日(木)午後7時～・西大芦コミュニティセンター】

No.	意見要望等の内容	回 答
1	<p>◇60億円の市庁舎より、福祉をはじめ、道路や橋などの整備が優先すべきと思うが、災害時のコントロールができないことや耐震も不足していることを考えると一定の整備は必要と思う。</p> <p>多くの声を聴き、勇気ある判断をお願いするとともに、これで間違いがなかったと言える庁舎整備をお願いしたい。</p> <p>また、鹿沼らしく「木造」建築も検討してもらいたい。</p>	<p>○「要望」として対応する。</p>
2	<p>◇仮設庁舎は、窓口が分散しないよう1箇所できないのか。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>◇防災拠点としては、どのくらいの防災機能を考えているのか。</p>	<p>○市民課や福祉課などは窓口の連携もあるので1箇所のワンフロアにしたいと考えている。</p> <p>○災害時の司令塔として、災害対策本部機能が発揮できるよう安全性の高いものになる。</p> <p>また、災害の発生時には、避難場所として機能できるようにしたい。</p>
3	<p>◇新庁舎は、何階建てになり、展望台などがあるのか。</p>	<p>○基本構想段階であり、具体的な議論はない。今後、取り込めるかどうか検討することになるが、建築費が高騰しており、面積的にも削るようになる。</p> <p>市民の皆さんが気軽に立ち寄れるような機能については、今後の検討に加えていきたい。</p>

◇意見・要望（質疑応答含む）◇

粕 尾

◇【H26年7月1日(火)午後7時～・粕尾コミュニティセンター】

No.	意見要望等の内容	回 答
4	◇新庁舎の構造にもよるが、「太陽光発電設備」を設置してもらいたい。長い目で見れば電気の節電になる。	○現在は構想段階であり、これから具体的な検討（基本計画等）になるが、自前で電気を確保することは、有効なことである。 建物の形態や構造によるが、「太陽光発電設備」を設置することが可能かどうか検討し、費用対効果も含め総合的に判断しながら導入を協議していきたい。

◇意見・要望（質疑応答含む）◇

東 部 台

◇【H26年7月3日(木)午後7時～・東部台コミュニティセンター】

No.	意見要望等の内容	回 答
5	<p>◇庁舎の位置について、世論調査では「現在の場所」と「他の場所への移転」が、38.7%対 38.7%で同数であったが、地区別人口でみると17地区の11地区において、「他の場所への移転」を望んでいる。アンケート調査を含めどのように考えているのか。</p> <p>また、下水道事務用地を災害時に「素掘り池」で活用することのだが、当初から分かっていたら、このような結果にはならなかったと思う。なぜ候補地にあげたのか。</p>	<p>○地区別の人口比率を計算するとご指摘の数字になるが、世論調査やアンケートの結果で決まるものではない。年齢別で計算するとまた違った数字になる。</p> <p>○「素掘り池」は、下水道事務用地の活用について、昨年末に県との協議により出てきたものであり、このような活用であれば補助金の返還も必要ない。庁舎敷地で活用するよりも災害時に必要となる「素掘り池」としての活用を考慮した。</p> <p>○候補地としては、市有地であり、面積も広く、また、消防付近への要望も多かったことから、6箇所の候補地の一つとした。</p>
	<p>◇市民から協賛金として 1,000 円程度寄付してもらい庁舎を整備する考え方もある。</p>	<p>○「要望」として対応する。</p>
6	<p>◇庁舎は現在の場所に建て替えることのだが、旧市内の活性化をどう考えるのか。中心市街地は衰退しており、どのように回復するのか大切な問題である。</p> <p>合併特例債も返済しなければならないし、維持費もかかる。市民の考えとしては、資金をかけないで、中心市街地の活性化策を立て、新庁舎を絡めながら進めるべきである。</p>	<p>○大型店の郊外進出により、全国的に中心市街地は衰退している。これまでに中心市街地には、間違いなく相当の金額を投資をしてきた。現在では、若い人達が中心となって、楽市やネコヤド商店街などが行われ、新たな賑わいも生まれており、また、彫刻屋台の展示施設も分散しているので、回遊することによる人の流れもある。</p> <p>また、旧粟野町を例にすると合併により 140 人から 150 人の職員が居た役場がなくなり、口粟野周辺の衰退が厳しい状況である。</p>

		<p>この場所から移転することは、まちづくりを根底からくつがえすことになる。庁舎も活性化の有効な施設としていきたい。</p> <p>○合併特例債は、事業費に95%充当でき、その内70%が交付税として、国から支援を受けることができる。</p>
7	◇現在、鹿沼市の人口は10万人を切っているが、長期的な人口の見通しはどうか。	○平成32年の人口は、97,000人を想定している。現状は、毎年約500人が自然減しているほか、社会動態の転入者も毎年約50人少なくなっている状況である。
	◇現在の人口重心は、鹿沼高校の東側にあるが、庁舎の位置としてどう考えるのか。	○栗野町との合併により、人口重心は移動している。鹿沼高校の東かどうか確認する。 <確認：H22年国勢調査より、東武新鹿沼駅南、松山音響付近>
	◇正式にスケジュールを決定する流れはどうか。	○スケジュール決定の議会の承認は行わない。庁舎が移転する場合は、2/3の議決が必要である。 また、合併特例債の期間延長に伴う新市建設計画の変更は議決が必要になる。
	◇財源には、合併特例債の活用を考えているようだが、借金の返済は生じてくる。財源をどのように考えているのか。	○当初、合併特例債の金額は、172億あったが、現在は44億円である。その他、現時点での建設基金が11億円あり、あわの振興基金も18億円使える見込みである。合併特例債を活用すれば、これ以上借入しなくても庁舎整備はできると考えている。
	◇来客用駐車場の現在の台数はどのくらいなのか。	○現敷地内は、79台である。150台の駐車場確保を目指すことになるが、他市と比較しても同規模である。最近では銀行のATMの利用者が多い状況であり、今後の検討課題である。

	◇職員駐車場は御殿山公園の駐車場を使用しているようだが、どのように考えているのか。	○職員駐車場は、御殿山公園駐車場や産文跡地、武道館駐車場を使用し、職員からは使用料をもらっている。御殿山駐車場は、夜間（ナイター等）の利用者はいるが、昼間の利用者はほとんどいないため、今後も有効に使用していきたい。
8	◇行政サービスにおいて、水道事務所や下水道事務所、文化課などは、一体化になるのか。都市計画関係の手続き上、集中してもらいたい。	○東館の教育委員会、文化センターの文化課、総合体育館のスポーツ振興課、情報センターの一部は、新庁舎に集約したいと考えている。水道事務所や下水道事務所は現状のままで進める。

◇意見・要望（質疑応答含む）◇

中 央

◇【H26年7月4日(金)午後7時30分～・市役所新館302会議室】

No.	意見要望等の内容	回 答
9	<p>◇鹿沼市の公共施設は地味であるので、誰でも市役所と分かるような建物にしてもらいたい。（目立つものに）</p> <p>◇「池」や「ふれあい広場」を設置するなど、ストレスがなくなるような施設機能を導入してもらいたい。</p> <p>◇軽食やコーヒーが飲めるスペースを設けてもらいたい。</p> <p>◇職員労働組合の事務所を設置してもらいたい。</p>	<p>○現在は基本構想の段階であるが、今後の「基本計画」や「設計」において検討していく。</p>
10	<p>◇総事業費を60億円とすると合併特例債として、42億円（70%）程度、国から戻ってくる。残りの18億円の財源はどのようにするのか。</p>	<p>○合併特例債は、当初172億円あったが、各事業で使用し現時点では44億円である。70%が交付税として戻ってくることになるが、交付税の扱いもその年により変わる場合があるので、確実に入る確証はないが、有利な起債である。</p> <p>合併特例債の使用可能額は、現時点で44億円であるので約30億円が交付税で措置される。その他、建設基金が現時点で11億円、あわの振興基金の18億円を財源に充てていきたい。これからも建設基金の積み増しができるので、できるだけ借金をしないで進めていきたい。</p>

◇意見・要望（質疑応答含む）◇

北 押 原

◇【H26年7月6日(日)午前10時～・北押原コミュニティセンター】

No.	意見要望等の内容	回 答
11	◇合併特例債は、H32年度が期限なのか。	○H32年度までである。
	◇千葉市は、工事費（資材費・人件費等）が高騰する時期なので、事業期間を延長した。栃木市は、当初より10億円予算がオーバーした。もう一度、期間の延長を検討した方が良い。	○議会でも事業期間の延期を答弁したが、同じ建物を造ったとして平常時より現時点で約34%アップし、今後も40%～50%アップすることもあると考えられるので、状況を十分に把握して慎重に検討したい。 合併特例債は、現時点で44億円あり70%の30億円程度、交付税として戻ってくる。交付税も年々減ってきているが、戻ってくる交付税と工事単価の値上がり状況を比較していくことになる。 設計を行った後では設計が無駄になってしまうので、この1～2年の間には結論を出す。市民の負担にならないよう最終的な判断をしたい。
	◇庁舎の位置について、庁舎整備検討委員会では2箇所を答申して、最終の判断を市長に委ねた形であるが、下水道事務所用地が調整区域であることを知っていたのか。	○庁舎整備検討委員会には説明し、承知のうえで答申している。
◇調整区域である下水道事務所用地を何故「候補地」に挙げたのか。一部隠していたのか、情報を誘導したのではないのか。	○候補地は、文化ゾーンや旧野外活動センター付近、ベイシア付近を含め、それぞれ課題があったが、6箇所を挙げた。下水道事務所用地も調整区域であったが、下野市も調整区域に庁舎を建設することで、変更するのに2年半の時間を要したが、実施することができた。下野市は市街化区域に隣接で鹿沼市のケースとは違っているが、可能性が「0」ではなか	

		<p>ったので候補地とした。庁舎整備検討委員会も内容を了解したうえで、最終的な候補地として、残ってきたものである。</p>
12	<p>◇鹿沼の産業を重視し、木工のまちとして「木造」で建築してもらいたい。</p>	<p>○木造化については、多くの皆さんから要望もある。 林野庁で栗野第1小学校の視察があった際、1～2階はRCで上部を木造にすることは考えられる。国においても建築基準の見直しの可能性があることから、配慮していきたい。 木質化については、十分に検討していきたい。</p>
	<p>◇下水道事務所用地は、防災上は消防や警察と連携しやすいと思うがどうなのか。</p>	<p>○現庁舎敷地は、県上都賀庁舎との連携がしやすいし、他の施設も市街地に集積している。下水道事務所は、消防、警察と近接になるので、連携はしやすいと考えている。</p>
	<p>◇下水道事務所用地は、黒川の浸水区域内で50cmの浸水が想定されているが、敷地を50cm嵩上げすればよいのではないか。</p>	<p>○庁舎敷地を嵩上げしても、周りが浸水してしまうので、難しいと判断した。</p>
	<p>◇現庁舎を移転した場合は、現在の敷地に彫刻屋台を5台～10台程度展示できる屋台会館を建設してはどうか。周辺商店も含め検討すべきである。</p>	<p>○夢のある提言ではあるが、現実問題として、一カ所に集積することは町内の理解が得られなく、歴代市長ができなかった。現在は、7台の彫刻屋台が分散して展示され、回遊する形になっている。 新庁舎の費用に加え屋台会館の費用もかなり財政的にも難しいと思う。 観光客も屋台展示が一カ所になった場合、その場所の見学だけで帰ってしまうので、まちの中を時間をかけて散策できるよう回遊性の展示により、活性化につなげていきたい。</p>
13	<p>◇建設費（資材費や人件費）の高騰により、先程、説明した再考する意味の中には、場合によっては中止もあり得るのか。</p>	<p>○現庁舎の耐震性や老朽化、また、庁舎整備検討委員会の答申を踏まえると建て替えは必要だと考えている。 工事単価の値上がり状況により延期した場合、基本設計が無駄になってしまうので、一旦中止して延期することもあり得る。</p>

◇意見・要望（質疑応答含む）◇

菊 沢

◇【H26年7月8日(火)午後8時00分～・菊沢コミュニティセンター】

No.	意見要望等の内容	回 答
14	<p>◇先ほどオリンピック等の関連で、計画を見直すことがあり得るとの話であるが、計画を引き延ばしても、その先がどうなるのかは、分からないのではないか。せっかく練り上げた構想であるし、新庁舎建設を進めてもらいたい。</p>	<p>○今後よく状況を見極めて、判断を下したい。 そのためにも基本構想及び基本計画はしっかり作成する。 建設資材などの物価は、業界の話からも、オリンピック後は必ず下がるとの見方である。 建築単価が下がるのは、オリンピック後すぐではなく、2～3年のズレもあるかもしれない。その場合、延期も視野に検討することになる。</p>

◇意見・要望（質疑応答含む）◇

加 蘇

◇【H26年7月8日(火)午後8時15分～・加蘇コミュニティセンター】

No.	意見要望等の内容	回 答
15	◇防災や高度情報化対策、環境性など建て替えの必要性は理解した。利便性においては、新庁舎の整備に合わせて職員の教育を行ってほしい。また、駐車場も増えることは良いが、駐車場係員の教育もお願いしたい。 特に、仕事を丁寧、かつ迅速に処理してほしい。	○要望に応えられるよう教育していきたい。高齢者に対する配慮も含め、市民サービスの向上に努めていく。
16	◇総事業費は、60億円を想定しているようだが、クリーンセンターの改修に30億円かかるなど、財源は大丈夫なのか。税金が上がるのではないか。	○税金が上がることはない。東京オリンピックなどの影響で工事費が高騰しているが、合併特例債や基金を有効に活用していきたい。
17	◇庁舎を整備する際には、なるべく地場産材を多く使用できれば良い。栗野第1小は目玉になっている。 下水道事務所在地であれば低層階で木造も可能であったと思うが、現庁舎敷地では、耐震化しビルみたく高層化になる。RCの場合でも内装に木をふんだんに使用し、「木質化」に努力してもらいたい。	○現庁舎敷地においては、15,000㎡の庁舎を「木造」で行うのは難しい。地場産材を使用して木質化を図っていく。
18	◇「文化課」が度々移動している。どこでも良いので一カ所に決めて、移動がないようにお願いしたい。	○新庁舎に入る予定である。ワンストップサービスができるよう配慮したい。

◇意見・要望（質疑応答含む）◇

東 部

◇【H26年7月10日(木)午後8時00分～・市民情報センター】

No.	意見要望等の内容	回 答
19	◇庁舎規模 15,000㎡の事業費が60億で今後消費税も上がる。建設業の倒産も多く、資材費なども高騰している。なかなか予定通りに進まないのではないかと心配である。	○課題の一つは、総事業費60億円の枠内に納まるかどうかである。 現在、合併特例債は44億円使用可能で、70%が交付税で戻ってくる。このメリット以上に工事単価が高騰すると上乗せが生じてくる。また、合併特例債も毎年使用し、減ってきているので、事業着手時にどのくらい残っているかも判断する一つの材料である。事業期間の延期は、設計に着手する前の今後1年程度のうちに判断したい。事業期間を延ばすことも視野に、将来の借金を減らすようにしたい。
	◇何階建てになるのか。	○床面積 15,000㎡で想定すると6階建て程度になる。
20	◇事業費の予算も必要であるが、先送りしても良くなれない。この時点まで構想をまとめてきたので、このまま進めてもらいたい。	○「要望」として対応する。 業界の関係者によると東京オリンピックが終われば、工事単価も下がるとの話を聞いている。この後の基本計画を年度内に仕上げ、1年以内には判断していきたい。
21	◇工事費を坪単価にすると相当高い額になるが、どのような考えなのか。	○佐野市と下野市の工事単価の平均額を採用している。
22	◇建設費用を償還する方法はどうか。	○合併特例債も返済することになるが、現在の基金が11億円あり、合併特例債の交付税も30億円程度戻るので、残り19億円は、一般会計からの持ち出しになる。新たな市民の負担はなく、税金を増やすことはない。

23	◇庁舎の整備は、合理性があり、50年後評価できるような無駄のない庁舎にしてもらいたい。	○旧栗野町との合併時に17億円の基金を積み立てたものもあるので、純粋に借金は多くならないと考えている。最小限に抑えていきたい。
24	◇鹿沼市を誇れるようなデザインの考えはあるのか。	○現在は構想段階であるが、シンボル性のあるものを、予算を最大限工夫しながら考えていきたい。
25	◇新庁舎は華美ではなく、バリアフリーを重視し、特に秋まつりなどでトイレを使用するので、トイレを充実してほしい。	○現庁舎のバリアフリーは難しい状況である。新庁舎については、利便性の向上が基本であるので、今後の設計に最大限反映していきたい。
26	◇市民の声を聴くとあるが、スケジュール的にはどこで聴くのか。本部会議や検討委員会は庁内職員で検討しているもので、職員の利便性が中心であるように思える。どのような形で市民の意見を反映するのか。	○今回の車座集会や説明会を通して市民の意見を活かしたいと考えている。市民にこの問題をどうしますかと聴いても判断できないと思うので、庁内の組織で検討しまとめてきた。今回も市民の意見を集約し、庁内で検討しながら最終的な判断をすることになる。現在、説明会のほか、パブリックコメントも実施し、広く市民の意見を集約しているので、受け入れできるものは導入していきたい。
27	◇仮設庁舎は、どの公共施設を使用するのか。	○仮設庁舎の施設は検討中である。民間施設を使ってくれないかとの話もあり、また、組織の業務形態や費用をかけないで使用できるような工夫を検討している。市民情報センターも有力な案であるし、議会を行う施設や現庁舎の一部を使用し、1期、2期工事で進める案もある。今後、推進本部において、利用しやすさや費用負担を検討し、判断していくことになる。

28	◇今後、人口が減っていくことを考慮しているのか。	○現職員数で算定し、規模は最大限になっている。今後職員数は減ってくると思うので、10,000 m ² 程度が適正でないかと思う。
	◇整備方針における防災や市民交流機能はどのようなものになるのか。	○防災機能では、災害時の避難スペースなどがあり、市民交流機能は、旧市内にコミュニティセンターがないので、市民が使用できるような機能である。

◇意見・要望（質疑応答含む）◇

北 犬 飼

◇【H26年7月11日(金)午後8時00分～・北犬飼コミュニティセンター】

No.	意見要望等の内容	回 答
29	<p>◇庁舎位置を「現庁舎敷地」に決めたことに対し、どうこう言うことはないが、答申の内容が「現庁舎敷地」であれば、多くの人を裏切らなかつた。現実的に「下水道事務所用地」は不可能であつたと思う。災害時の「素掘り池」は大変心に刺さつた。コミュニティセンターの整備を早急に進めてもらえれば、ショックも和らぐと思う。</p>	<p>○検討委員会では、庁舎の候補地として6箇所を選定したが、それぞれ課題があつた。下水道事務所用地は「調整区域」であることやJR駅東付近は土地の買収が必要であり、ベイシア付近は権利関係が難しく、文化ゾーンは土地の狭さなどが課題であつた。その中において、「下水道事務所用地」の指示が高く、答申に残つてきた。</p> <p>答申後、庁内で他の課題を含め検討した際に「素掘り池」が浮上してきた。「下水道事務所用地」は国庫補助金で購入した土地であるため、目的外で使用する場合は補助金の返還が生じる。昨年12月の県との協議において、災害時の「素掘り池」として確保しておくのであれば、補助金の返還は必要ないとのことであつた。</p> <p>庁内（環境部）の検討において、災害時の「素掘り池」の用地として、是非残してもらいたいとのことであつた。このようなことから最終的に「現庁舎敷地」に決定したので、ご理解願いたい。</p> <p>○コミュニティセンターの整備については、今月（7月23日）入札予定の「南押原コミュニティセンター」の整備後に整備することになる。庁舎整備と並行して進めていきたい。</p>

30	<p>◇市民は、市庁舎（本庁）の利用より、コミュニティセンターを利用するのが主である。</p> <p>庁舎位置のアクセス性において、駐車場を150台確保するとのことであるが、車が集まり込み合ってくるのが想定できる。周辺道路の整備計画はどのように考えるのか。茨城県庁は、郊外型で駐車場も広く、アクセスが良い。</p>	<p>○駐車場として150台確保する予定であるが、多くの方はコミュニティセンターで用が足りている。本庁への来庁は年に1回程度であり、ほとんどの人が旧市街地の市民である。中央地区はコミュニティセンター機能がないため、その機能を充実したい。</p> <p>現庁舎の駐車場は、ATMの利用者が多く、回転率は速いが東側の駐車場を埋めてしまうのが現状である。</p> <p>駐車場は、他市と比べても150台あれば十分であり、今後、人口も増えないことから、車が押し寄せてくることはないと思うが、適宜、環境整備を進めていく。</p> <p>○茨城県庁は郊外に移転し、新たな市街地が形成されているが、中心部は寂れているのが現状である。</p>
	<p>◇公共交通機関からのアクセスにおいて、JR鹿沼駅との距離を説明していたが、市民がJR鹿沼駅を使って市役所へ行くことはないと思うが、どのような考えなのか。</p>	<p>○市外の方が、マラソン大会や花火大会などのイベントで市庁舎を訪れている。そのため、駅からの距離も位置選定の判断の一つとした。</p>

◇意見・要望（質疑応答含む）◇

東 大 芦

◇【H26年7月13日(日)午前10時00分～・東大芦コミュニティセンター】

No.	意見要望等の内容	回 答
—	◇特になし。	

◇意見・要望（質疑応答含む）◇

栗 野

◇【H26年7月13日(日)午後2時00分～・栗野コミュニティセンター】

No.	意見要望等の内容	回 答
31	<p>◇ワンストップサービスやおもてなしの心の説明があったが、現庁舎は、窓口に行って、次に税務に行くようにワンストップになっていない。コミュニティセンターは一つの窓口で用が足りる。人によっては、納税に行くことが分かってしまうなど、入りづらい面もある。是非、本庁舎内にコミュニティセンター機能を導入してもらいたい。</p>	<p>○その通りで、コミュニティセンターは全ての用が一つの窓口で足りるので、ワンストップサービスを実現していることになる。貴重な提言としたい。旧市街地のコミュニティセンター機能がないので、新庁舎には導入したいと考えている。</p> <p>新潟県の長岡市は、市民は動かないで職員が移動し、ワンストップで対応していた。</p> <p>今後の基本計画において、コミュニティセンター機能を取り入れていきたい。</p>
32	<p>◇市街地においても人口減少や高齢化は進むと思うが、人口の減少をどう見ているのか。</p>	<p>○総合計画では平成32年の人口を97,000人と想定している。年間500人程度減少する見込みであったが、平成23年から急速に減少した。出生人口の700人前後に対し死亡する人が1200人で500人は自然減している。また、社会動態的にも転出は変更ないが、転入者が減っているなど、構造的に変わってきているのが現状である。</p> <p>宇都宮市は、増加しても周辺は今後も減っていく。庁舎整備より、産み育てる環境や高齢福祉などに予算を使うべきだと言う意見もあると思うが、現庁舎の老朽化など、やむを得ない状況もあり、合併特例債を考慮すると今回がチャンスであり、借金を増やさないで進めていきたい。</p>

◇「下水道事務所用地」は、良い場所を選んだと思った。公共交通機関のリーバスがないのは仕方がないが、一回りできる環状線が整備されるし、南大通りの計画もある。

「現庁舎敷地」は、天神町の道路拡幅は難しく、また、中心市街地を区画整理したが、空き地が多く人を呼び込めていないなど、将来を見据えていないと思うがどうなのか。

◇将来を見据えて、国を挙げて市街地を拡大しなく、「コンパクト」な街を推進している。中心市街地にはこれまでも相当の投資をしてきた。今後も継続してコンパクトな街としていきたい。このようなことから「現庁舎敷地」が適地であると判断したのでご理解願いたい。

下水道事務所周辺には店舗も出店し、また、ベイシア跡地も権利関係が整理つければ、出店する店舗も出てくると思うので、民間活力による地域の利便性の向上を打算している。

◇意見・要望（質疑応答含む）◇

南 押 原

◇【H26年7月15日(火)午後8時00分～・南押原コミュニティセンター】

No.	意見要望等の内容	回 答
—	◇特になし。	

◇意見・要望（質疑応答含む）◇

永 野

◇【H26年7月15日(火)午後8時00分～・永野コミュニティセンター】

No.	意見要望等の内容	回 答
33	◇建物の耐震化により木造は難しいと思うが、「木のまち」として、木材をどのくらい使用するのか。	○木造は、建築基準法により制限があるが、内装などの木質化は可能であるので、できるだけ地場産材を使用した木質化を図っていききたい。
	◇コスト削減をして工事単価を抑えるとのことだが、木材は安くなっているし、無償での協力もできると思うので、どれくらい使用するのか教えてもらいたい。	◇現在は構想段階であり、具体的な使用量はまだ決まっていない。できるだけ地場産材は使用していききたい。
34	◇庁舎の規模において、ホールなど市民サービスの向上に約 2,000 ㎡の面積を確保するとの説明があったが、ホールの他はどんなものがあるのか。	○防災拠点としての「避難スペース」をはじめ、窓口に来た際に子供を遊ばせるための「キッズコーナー」や「授乳室」、「ATMスペース」などがある。
	◇事業費の関係で面積を削るとのことだが、この2,000㎡を削るのでは困る。	○職員一人ひとりの面積を削ることになると思う。
35	◇電気自動車の急速充電器が、今後、コンビニなどに設置され普及していくと思う。駐車スペースに電気自動車の急速充電器を設置してもらいたい。	○急速充電器は、現在、まちの駅新鹿沼宿に1台設置してある。新庁舎の駐車場にも急速充電器の設置を検討していききたい。

◇意見・要望（質疑応答含む）◇

清 州

◇【H26年7月16日(水)午後8時00分～・清州コミュニティセンター】

No.	意見要望等の内容	回 答
36	<p>◇まちづくりについて、下水道事務用地へ移転した場合、人が移動し、市街地を形成することになるのか？そのような数字（データ）があるのか？</p>	<p>○下水道事務用地は、市街化調整区域であり、現在道路沿いにフードサービス店舗が進出してきたが、住宅が建つのは難しい。 数字（データ）で説明することはできないが、客観的に見て、人口が減少していく時代であり、新たに市街地が形成されるのは難しいとの考えである。</p>
	<p>◇アクセス性について、駅中心に考えているのか？清洲地区は主な交通手段はマイカーである。駅の利用も栃木駅を利用することが多く、重要度がピンとこないのであるが。</p>	<p>○鹿沼市の交通機関は、鉄道ばかりではなく、バス利用についても、高齢化社会を迎えて課題が多いことは承知している。 リーバスや予約式バスなどでアクセスを結ぶことしかできないと思う。地区の不便をカバーするのがコミュニティセンターである。 各地区の市民の皆さんは、コミュニティセンターで日常的な利用は足りるとのことがアンケート調査からも分かる。 本庁については、年1回程度の利用だけであり、今後はコミュニティセンターで用を足せる範囲をいかに広げることが課題となる。 ちなみに本庁の窓口の利用状況を調査すると、9割以上が旧市内に在住している市民である。 旧市内にはコミュニティセンターが無い利用者が多くなる。それぞれの身近な施設の充実を図ることが大切と考える。</p>

37	◇『素掘り池』について、初めから分かっていたのでは？	○元々『素掘り池』の考えは無かった。下水道事務所用地の国庫補助金返還について、『素掘り池』としての土地利用が認められると判明したのは、昨年12月頃であり、検討委員会での議論はその頃ほぼ終了していた。意図的に後出したものではなく、早期に判明していたなら、そもそも下水道事務所用地を候補地に挙げていない。
	◇下水道事務所用地の市街化調整区域については国会議員の力で何とかできないか？	○市街化調整区域の開発行為の許可について、国会議員の力を借りるものではない。市と県との協議により、十分合理的な説明ができれば可能と考える。
	◇下水道事務所用地の方が警察署や消防署が集まり、防災時の連携が図れるのでは？	○現庁舎敷地においては、県上都賀庁舎や郵便局、銀行、病院など日常的に市民が利用する関係機関が集積しており、どちらが優位とは判断できかねる。
	◇木材の値段は逆に下がっている。発注の時期はいつ頃なのか？	○現在のスケジュールでは、平成29年度に発注予定である。事業費については、建設業界からの情報によると、少なくとも今より上昇するとの見方である。
	◇合併特例債は国からの支援があると言っても、やはり借金であり、きちんとした財源計画をしてほしい。	○特例債は7割が交付税として支援されることとなっている。庁舎建設には国庫補助が無い場合、特例債を活用することが市の負担軽減となる。現在市の積立金は11億円で、合併時の積立金が別に約18億円あり、これらの合計で約30億円程度が積立金で賄えると考えられる。事業凍結で延長となった場合は、特例債が使用できないため、より内容を精査し、負担軽減に努める。

◇意見・要望（質疑応答含む）◇

南 摩

◇【H26年7月16日(水)午後8時00分～・南摩コミュニティセンター】

No.	意見要望等の内容	回 答
38	◇建築の工事単価が335千円で算定しているが、建築業者からの見積もりなのか。税金を無駄使いしないで、市民が納得できるような建物にしてもらいたい。	○佐野市と下野市の設計・計画段階の工事単価の平均を参考にしている。ここ最近、工事単価が急上昇している状況である。
39	◇市民の利便性の向上として、ワンストップサービスを目指しているようだが、工事費の関係で規模を10,000㎡程度に抑えると、集約できない部署が出てくると思う。使いやすい庁舎にしてもらいたい。	○窓口や福祉部門は広く確保し、ワンストップサービスを実現したい。会議室などの余計な面積を減らしながら、面積を調整していきたい。

◇意見・要望（質疑応答含む）◇

北 部

◇【H26年7月28日(月)午後7時00分～・市民情報センター】

No.	意見要望等の内容	回 答
40	<p>◇建物ありきではなく、組織を機能させる建物が必要である。組織を抜本的に見直し、縦割りではなく、平面的な組織になるよう組織の見直しを優先してもらいたい。業務を行う部屋（スペース）の位置付けも変わってくる。</p>	<p>○ご指摘のとおり、組織の見直しも含め検討したいと考えている。建物の面積は、現在の職員を基本に算出しているが、今後の人口減少により、職員も減ることが想定できるため、庁舎規模も併せて見直していくことになる。また、できる限り「ワンストップ（窓口等）」で用事がすませるような組織形態も含め、今後の基本計画や設計において検討する。</p> <p>部屋（スペース）については、大部屋の方が、応用が利くと思うし、内装に「木製インフィル」などが採用しやすいので、効果的な部屋の形態を検討する。</p>
	<p>◇市議会議員の定数が減少することで、「議会棟」のあり方も変わってくると思うがどのように考えるか。</p>	<p>○議場等の面積は、定数の26人を基本に算定している。議場を使用する日数は少ないので、市民に開放できる機能など、今後の基本計画において検討したい。</p>

◇意見・要望（質疑応答含む）◇

板 荷

◇【H26年7月31日(木)午後7時00分～・板荷コミュニティセンター】

No.	意見要望等の内容	回 答
41	<p>◇老朽化などにより、早急に建て替えをする必要であるが、2020年の東京オリンピック需要などで建築単価が上昇している。6～7年我慢すれば、東京オリンピックが終わり建築単価も下がると思う。一段落してから建築工事を実施するべきである。</p>	<p>○ご指摘のとおり、すごい勢いで建築単価が高騰しているのです、今実施することが適切なのか判断しなければなりません。延期の場合は、東京オリンピック後になると思う。合併特例債の活用を考えると平成32年度までになるが、合併特例債は、庁舎以外にも活用できるので、市全体としては有効に活用できる。その場合、建設基金を貯めて、借金をしないで実施したい。設計に入ると設計が無駄になってしまうので、ここ1年程度で判断していきたい。</p>
42	<p>◇「合併特例債」と通常の起債との違いはあるのか。</p>	<p>○「合併特例債」は、旧栗野町と合併したことにより、10年間で172億円の借入れができる。現在は、道路整備などに使用に残額が44億円である。その借入れた額の7割が、国から地方交付税として補填されるものである。交付税も総額が減っているので、どの部分が、庁舎の算定額なのか分からない部分も出てくると思うが、有利な財源であるので活用していきたい。その他の財源として、建設基金が11億円、合併した際の基金が18億円あり、合わせて29億円の蓄えはある。</p>

<計：42人70件>